

第38回日本証券アナリスト大会を終えて

大会実行委員長 塩原 邦彦 CMA
(三菱UFJモルガン・スタンレー証券)

2023年10月10日に開催された第38回日本証券アナリスト大会は、前回の「パーパス経営」に続き「人的資本経営」をテーマに、ウェブとのハイブリッド方式ながら、久方ぶりに会場での実開催となりました。コロナ禍を経てセミナーや講演会のウェブ開催が常態化している環境下での企画でしたが、無事実施できましたことをうれしく思います。やはり、実開催においてご登壇者の表情や雰囲気、臨場感をもって見聞きできるのはとても良いことだと思いました。関係者の方々におかれましては、大会の設営・運営に当たり、多大なるご尽力を賜りましたことを深く御礼申し上げます。

テーマ設定に当たって意識されたのは、「失われた30年」を経て目の当たりにしている日本経済成長力の低下でした。折しも、地政学的リスクの高まりや東証市場改革などの政策期待から海外投資家による日本株への注目度が高まる一方で、人口減少や財政債務問題など日本が抱える多くの構造的問題との間に大きなギャップがあることを改めて感じながらの協議となりました。

前回大会では、社会における企業の存在意義をどう考えるかという観点から、従業員への動機づけへの道筋として「パーパス経営」を題材とし



塩原大会実行委員長

した。今回はさらにその中身に踏み込むべく、企業が成長する上でカギを握る「人」を具体的にどう活かすべきかに焦点を当てた「人的資本経営」をメインテーマとすることに決まりました。

記念講演では、まず三菱ケミカルグループ株式会社のジョンマーク・ギルソン代表執行役社長より、情熱あふれるご講演をいただきました。日本は、成長を実現するために必要なグローバルな舞台で活躍できる様々な要素を持っているものの、リーダーによる「不作為」でそれが十分活かされておらず、結果的に成長を実現できていない現実を率直に指摘されました。そして、その考え方に基づき、同社において「スペシャリティマテリアルズへのシフト」を進める変革を具体例としてご紹介いただきました。経営のストーリーを非常に